



### 定例会12月会議・1月特別会議

環境基本条例制定……………	2
7人が登壇 一般質問……………	9
『ほんわかせっしょん』開催!……………	18
碾茶日本一 親子で抹茶文化広めたい……………	20

〔表紙写真：消防出初式で放水する消防マイスター!〕

### 3月会議の予定

3月 2日	議案提案
3日	代表・一般質問
6日	一般質問
8日	総務事業常任委員会
9日	民生教育常任委員会
10日、16日、20日、22日、23日、24日	予算決算常任委員会
15日、29日	議案採決

# 環境基本条例制定

～持続的に発展していく  
脱炭素社会をつくりあげていくために～

本会議や予算決算  
常任委員会の映像配信  
久御山町議会ホームページから  
録画映像がご覧いただけます。



定例会

12月会議

1月  
特別会議

## 6月5日は環境の日

SDGs、脱炭素、カーボンニュートラル—そういった言葉を耳にすることが増えてきました。人口増加や暮らし方の変化によって地球環境への負担が大きくなった今、地球温暖化、ごみの問題、生物多様性の危機など多くの環境問題が起きており、地球で生きる私たち一人一人が生活を見直さなければいけない状況になっています。

久御山町はかつて、巨椋池を中心に多種多様な生態系を形成していました。その後、巨椋池の干拓や周辺の耕地整理により一大優良農業地帯が形成され、国道1号が開通すると、まちの様相は一変。農業と工業のまちへと姿を変える中で、自動車の排ガスなどの都市型公害が顕在化しました。

久御山町の風景を守るため、町をあげて環境問題に取り組むことができるよう、条例が制定されました。これを機に、環境について考えましょう。

定例会12月会議では、町長から条例制定や改正、補正予算などの提案があり、議員から意見書の提案がありました。いずれも慎重審議のうえ可決しました。一般質問では7人が町政の課題について質問しました。また、1月特別会議にて、出産・子育て応援交付金を支給するため補正予算の提案があり、慎重審議のうえ可決しました。

**Q** 6月5日にイベントなどの開催は考えているのか。

**A** 環境保全の重要性を再認識していただく重要な日のため、何かイベントを企画したいと考えている。

**Q** 住民や事業所の皆さんへの周知・広報はどうしていくのか。

**A** アンケート調査も周知の一環で、わかりやすいコラムなどを取り入れた。今後もわかりやすく説明していくような仕掛けも大切だと思っているので、町・住民・事業者が一体となって取り組んでいけるよう努力したい。

**Q** 環境についてまずはここから取り組む、というような具体的な目標は。

**A** アンケート調査や環境基本計画策定委員会、そして議会での意見を受けて現在検討しているところ。  
環境基本計画について来年8月策定を目標としており、そこに向けてより具体的な施策を考えていきたい。

総務事業常任委員会

# 補正予算

## 全世代・全員活躍まちづくりセンター整備事業

1,440  
万円

基本設計を開始してから必要になった測量や地質調査にかかる経費など、プロポーザル時点と条件が変わったことによる基本プランの見直しに係る増額。

Q 建設事業管理業務で地質調査は当初から見込んでいなかったのか。

A プロポーザルをおこなった際、地質調査については中央公民館建設・解体時のもので足りると判断し、見込んでいなかった。建物を建てる上でやはり必要となり計上した。

## 公園維持管理事業

402  
万円

木津川河川敷運動広場の草刈りで使用するトラクターの故障に伴う購入費用。

Q 購入する公用車は草刈り用のトラクターで、年度内の納入が難しいとのことだが、納入までの間はどさされるのか。

A その間はリース契約で対応していく。

## 消防費寄附金（歳入）

43  
万円

日本中央競馬会事業所周辺環境整備事業寄附金の増額。

Q 総額と活用方法は。

A 消防本部の割り当ては170万円で、防火水槽の整備事業で漏水に伴う補修等に活用する。

## 職員人件費（消防費）

27  
万円

新型コロナウイルス傷病者の搬送増加に伴う伝染病防疫作業手当の増額。

Q コロナによる特殊勤務手当が必要な出勤回数は。

A 令和4年1月から12月19日まで、146件出勤している。

## 1月特別会議

## 妊産婦支援事業（出産・子育て応援交付金）

1,263  
万円

妊婦や子育て家庭の経済的支援のため、出産・子育て応援ギフトとして妊娠届出後5万円、出産後5万円を支給する。対象は令和4年4月以降に妊娠・出産した人。慎重審議のうえ、全員賛成で可決しました。



## 令和4年度補正予算

区分		補正額	補正後の額	
一般会計(第5・6号)		1億5484万円	86億2934万円	
特別会計	国民健康保険（事業勘定）（第3号）	122万円	20億1788万円	
公営企業会計	水道事業（第3・4号）	収益的支出	548万円	6億7949万円
		資本的支出	32万円	2億5939万円
	下水道事業（第3・4号）	収益的支出	49万円	7億5633万円
		資本的支出	6万円	3億4982万円

※1月特別会議の補正予算額は含まれていません。

[万円未満四捨五入]

## 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定

### 職員の定年等に関する条例一部改正（総務事業常任委員会）

地方公務員法の一部改正に伴い、国家公務員に準じて職員の定年年齢を引き上げるなど関係条例の規定の整備をするもの。

**Q** 管理監督職について、「職員の給与に関する条例施行規則」で管理監督職群を定めていれば、7割の給料で管理監督職として勤務することができるかとあるが、定めるのか。

**A** その前提で動いている。

## 佐山排水機場施設更新工事（第1期）請負変更契約の締結（総務事業常任委員会）

トレーラーが入らないことによる既設門扉の撤去や、循環型冷却によるディーゼルエンジン及び減速機の機能向上に係る増額。

**Q** 門扉撤去は設計ミスと思われ、それによる変更契約は認められないと思うが。

**A** 積算は当初設計に基づいており、その内容が変わった場合は変更対象である。工事を進める上で必要な内容であるため、ご理解いただきたい。

**Q** 機能向上について、なぜ追加されたのか。その結果ランニングコストは低減されるのか。

**A** 近年の集中豪雨などを懸念し、故障のリスクを軽減する必要な機能と判断して追加した。故障が起ると修理に多額の費用が必要となるため、ランニングコストを抑えることができる。



## 指定管理者の指定（民生教育常任委員会）

健康センターいきいきホールの管理について、(株)ノーザンライツ・コーポレーションを指定した。



**Q** 選定時の採点が200点満点で145.8点。新規展開等アピールポイントが15点中9点。14年間やっているにも関わらずポイントが少ないと思うがどのような評価だったのか。

**A** アピールポイントとは、実績とそれに基づく本町の他の事業との連携である。現在「歩くまち久御山」や町民運動会、生きがい大学、介護予防教室に積極的に参画しているところを評価した。新規についても準備世代を獲得する事業を提案されている。

## 意見書〈採択〉

『GIGAスクール構想による一人1台端末や通信環境の整備・維持、ICTを活用した教育の振興のため恒常的な国の支援策の創設に関する意見書』

今後のさらなる情報教育環境の実現に向け、定例会12月会議で見書の議員提案がありました。

これを全員一致で採択し、衆議院・参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣へ提出しました。

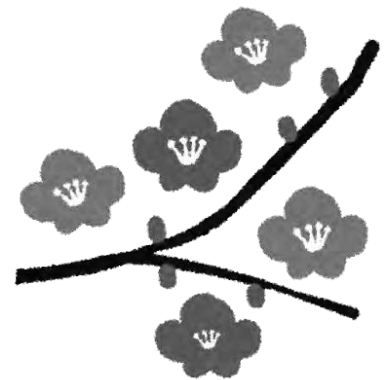
〈提出者〉松本 義裕



### 【意見書内容】

- 1、一人1台端末（タブレット端末）の整備・修繕・更新、活用に係る通信及び回線速度改善等に係る恒常的な国庫補助金措置を講じること。
- 2、学習ソフトウェア・ハードウェア等の購入経費に係る支援を図ること。
- 3、通信費に対する財政支援を講じること。
- 4、情報通信技術支援員等（ICT支援員等）の配置及び充実にの支援を図ること。
- 5、デジタル教科書無償化及びその活用に対する支援を図ること。

全文はこちら



### 自治功労者表彰

自治功労者として表彰礼遇することに同意しました。

内田	村田	榊田	田口
うちだ	むらた	さかきだ	たぐち
千代子	和弘	俊夫	浩嗣
ちよこ	かずひろ	としお	こうじ
氏	氏	氏	氏

### 選挙管理委員及び同補充員の選挙

選挙管理委員及び同補充員の任期満了に伴い、次の方々が当選されました。任期は令和4年12月24日から4年間。

#### ●選挙管理委員

塩屋 千鶴 氏

曾束 正義 氏

岡本 京子 氏

山田 清文 氏

#### ●選挙管理委員補充員

岡井 文彦 氏

中瀬 哲夫 氏

平野 穂奈美 氏

田井 眞奈美 氏

# 総務事業 常任委員会

REPORT

12月19日

12月19日に開かれた総務事業常任委員会（林吉一委員長）では、付託された10議案の審議と、請願審査1件（結果は8ページ参照）のほか、行政報告を受けました。主な質疑について報告します。

## まるとまちごとハザードマップの設置について

**Q** 9カ所に設置予定となっているが、今後は他の自治会の要請があれば設置していくのか。

**A** 自治会の希望を聞きながら、令和2年度より設置している。今後も他の自治会の希望があれば設置していく。

**Q** 積極的な設置の方が、住民の安心・安全につながるのでは。

**A** 十分に説明しながら、設置を進めていく。

## まちづくりセンター基本設計の中間案について

**Q** 中間案に「カフェ」の表記があるが、コンセプトと内容はどのようなものか。

**A** 運営は障害者支援をされている町内事業者を予定し、飲み物をメインに考えている。

**Q** 障害者の方の雇用を考えているということか。

**A** どの程度関わっていただけるかは今後つめていく。

## 新開地・林線における事故報告について

**Q** 自動車と設置看板の接触による事故ということだが、どのような看板か。

**A** 歩道が道路の反対側へ移る箇所での注意喚起のもの。

**Q** 類似事故を防ぐための今後の対応は。

**A** 道路のパトロールは常におこなっている。その折に注意していく。

## ◆休会中の事務調査／10月27日

## 「農業振興施策—生産農家視察—」

総務事業常任委員会は、休会中の事務調査として生産農家を訪ね、農業振興施策の状況を現地視察した。

令和3年の全国茶品評会において、日本遺産佐山浜台の茶園でお茶づくりをされている阪田広樹さんが、てん茶の部で1等1席の農林水産大臣賞に輝かれた。また、上位3点の合計点により、久御山町が「産地賞」を獲得した。

樹齢300年の古木も含め、先祖代々引き継いでこられた茶園や製茶工場を案内していただき、品質の高いお茶づくりの工夫や製造工程について教えていただいた。



相島地域でハウス農業を営む酒部和典さんは、令和3年度に久御山町の「がんばる農家支援事業補助金」を申請し、スマート農業に取り組んでおられる。スマート農業とは、IT技術や情報通信を活用し、省力化・精密化を図り、高品質な生産を進める農業のこと。

ハウスでは、湿度や雨などの農産物の生長に関わる条件を感知し、自動で換気窓が開閉する設備を導入され、作業効率と生産性の向上が図れているということであった。

# 民生教育 常任委員会

REPORT

12月20日

12月20日に開かれた民生教育常任委員会（巽悦子委員長）では、付託された3議案の審議（結果は8ページ参照）のほか、行政報告を受けました。

主な質疑について報告します。

## 東角小学校 体育館のトイレ 全てを洋式化、床は乾式に

**Q** 便器の変更とは。

**A** 男子用トイレの大便器は1器を洋式2器とし、小便器は3器を2器にする。

女子用トイレは、3器全てを洋式にする。



和式トイレを洋式に改修(東角小体育館)  
\*工事完了予定日は  
令和5年2月15日

## 「第3次生涯学習推進計画」策定にむけた「アンケート」

- ・目的：令和6年～10年の計画策定に際し、ニーズなどを把握する。
- ・期間：令和5年1月中
- ・対象：居住者（16歳～）町内企業
- ・調査方法：郵送/Web



## 第3次生涯学習推進計画策定 1月からアンケート調査を

**Q** 災害時には避難所として利用する。なぜ男子用の小便器を減らすのか。

**A** 検討はしたが、大便器も洋式にしたので、利用可能と判断した。

**Q** 調査方法を、郵送とWebとに分けたのは。住民は両方可能としてはどうか。

**A** 「第2次」のアンケート調査では、対象企業は250社で回答率が45%。今回はより多くの意見を期待し、web回答がより簡易な方法であると判断した。

## ◆休会中の事務調査／10月28日

## 「生涯学習推進計画と全世代・全員活躍まちづくりセンター」

### ●本町の「第2次久御山生涯学習計画」

平成16（2004）年3月に「第1次久御山生涯学習計画」を策定、平成26（2014）年3月に「第2次計画」を策定した。

<基本方針>

- ①生涯学習・生涯スポーツの機会の充実
- ②人材の育成・タウンキャンパスの充実と活用
- ③生涯学習推進体制の整備を相互に関連
- ④人と人とのつながり

### ●全世代・全員活躍まちづくりセンターの開館準備（令和7（2025）年7月開館予定）

現在、「第3次生涯学習推進計画」について、基本方針に加え、「全世代・全員活躍型『生涯活躍のまち』構想の実現、まちづくりセンター開館、ウェルビーイング（包摂的幸せ）などの実現に向け、計画策定の準備を進めている。



### ●まちづくりセンターについて、生涯学習応援課がおこなうことは

- ・住民参画を促す取り組み
- ・利用ルールの仕組みづくり
- ・指定管理者（事業者）の企画立案や関係団体からのヒアリングなど



まちづくりセンター(イメージ図)

### <質疑より>

**Q** いつまでに、何をするのか。

**A** 使用料・予約方法・業務内容等を検討しているところである。

**Q** 防災施設と言いながら地下には調整池がない。取り入れなければならないものを真剣に考えていただきたい。

**A** 意見は設計の担当課に伝える。

## 請願〈不採択〉

「消費税のインボイス制度の実施中止を求める意見書」を政府に送付することを求める請願

定例会12月会議で、総務事業常任委員会に付託された請願は、12月19日に審査をおこないました。12月26日の本会議において委員会での審査結果が報告され、本会議で不採択となりました。

〈請願人〉京都市城陽久御山民主商工会

会長 内田 公昭

事務局長 谷 祐一郎

〈紹介議員〉巽 悦子

### 【請願事項】

インボイス制度は多くの事業者を理解されておらず、また、自身の事業が被る影響を危惧する事業者もあり、登録率が低い状況にある。この制度が導入されれば大きな混乱を招くため、政府へ「インボイス制度の実施中止を求める意見書」を送付することを求める。

### 【審査内容】

免税事業者に対する懸念はあるものの、6年の経過措置をとることから中止には賛成できないなどの意見があり、賛成少数で不採択と決した。

## 12月会議 全議案の採決結果

※1月特別会議の結果は3ページ参照

### ■賛否が分かれた議案

○=賛成 ×=反対 -=欠席

(注) 表中の○及び×は、○=賛成討論、×=反対討論をおこなっています。

議案/議員	公明党		共産党		くみやま みらい			ネクスト くみやま			会派に 属さない議員			結果															
	岩田 芳一	戸川 和子	中野 ますみ	巽 悦子	松本 義裕	林 吉一	島 宏樹	篠田 久和	内田 孝司	田口 浩嗣	芦田 祐介	松尾 憲	樋口 房次		中井 孝紀														
	議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例一部改正	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○		○	※	可決												
常勤の特別職の給与に関する条例一部改正	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	○	※	可決														
4年度 補正予算	一般会計(第5号)		○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	※	可決														
	一般会計(第6号)		○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	○	※	可決														
契約	佐山排水機場施設更新工事(第1期)請負変更契約の締結														○	○	×	×	○	○	※	可決							
その他	指定管理者の指定(健康センターいきいきホール)														○	○	×	×	-	○	○	○	○	○	○	○	○	※	可決
請願	「消費税のインボイス制度の実施中止を求める意見書」を政府に送付することを求める請願														×	×	○	○	-	×	×	×	×	×	×	○	×	※	不採択

※中井議長は、賛否同数以外は採決に加わりません。

### ■全員賛成の議案

人事	自治功労者としての表彰礼遇につき同意を求める	国民健康保険特別会計(事業勘定)(第3号)
条例	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定	4年度 補正予算
	環境基本条例制定	水道事業会計(第3・4号)
	職員の定年等に関する条例一部改正	下水道事業会計(第3・4号)
	職員の給与に関する条例一部改正	町道路線
	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例一部改正	町道路線の認定
	印鑑条例一部改正	その他
	老人医療費の支給に関する条例一部改正	京都市市町村職員退職手当組合同規約の変更
		意見書
		GIGAスクール構想による一人1台端末や通信環境の整備・維持、ICTを活用した教育の振興のため恒常的な国の支援策の創設に関する意見書





一般  
質問

ここが聞きたい

7議員が  
登壇

一般質問では、行政全般について町長などに質問しました。

質問者	質問項目（質問方法）	ページ
あした しょうすけ 議員 芦田 祐介	①大阪・関西万博 ②町長の政治姿勢 ③ノロウイルス対策	一問一答 P10
しのだ ひさかず 議員 篠田 久和	①ヤングケアラー ②観光部署設置	一括質問 P11
まつもと よしひろ 議員 松本 義裕	①子育て支援策の充実 ②荒見苑の利活用	一問一答 P12
うちだ たかし 議員 内田 孝司	①避難所の運営	一問一答 P13
いわた よしかず 議員 岩田 芳一	①教育のDX ②発達性読み書き障害（ディスレクシア）	一問一答 P14
まつお あきら 議員 松尾 憲	①水道事業（府推進協議会を受けて） ②子育て環境（子育て環境日本一を謳う府政の下）	一問一答 P15
たつみ えつこ 議員 巽 悦子	①まちづくり ②水道広域化 ③今後の介護保険制度 ※	一問一答 P16

※印の質問事項は誌面の都合上掲載しておりません。録画映像をご覧ください。  
各議員の写真の下にあるQRコードを読み込むと、一般質問の動画がスマートフォンやタブレット端末で  
ご覧いただけます。

**一括質問** 議員の質問時間の制限はなく、質問回数は2回まで。

**一問一答** 一つの事項を深く掘り下げて何度でもできる。議員の質問時間は30分以内。

定例会の映像配信

久御山町議会ホームページから生中継  
と録画映像がご覧いただけます。



議会だより・会議録はこちら

久御山町議会  検索



あしだ ゆうすけ  
芦田 祐介

**Q** 来年度に万博関係の予算をつけるべきでは

**A** 推進本部設置を検討 今後の動きを注視したい

質問

2025年（令和7年）、大阪・関西万博が大阪市此花区の夢洲で開催される。久御山町も万博をより積極的に推進していく必要がある。

そこで、庁内に町長を本部長とする「大阪・関西万博推進本部」を設置して、全庁的・横断的な取り組みを進めるべきでは。

総務課長

万博は、広域的な取り組みにより効果を発揮する。府や近隣自治体の動きを見ながら、「推進本部」設置を検討していきたい。

質問

来年度には、万博関係の予算をつけるべきだ。

町長

オール京都体制による「大阪・関西万博きょうと基本構想検討会」が設置された。

本町もこれに参画しており、産業・文化・観光の各方面での取り組みの方向性をこれから協議していく段階にある。

予算については、今後の動きを見ながらということになる。

**Q** 町長の後援会収支報告書に誤りがあるのでは

**A** 後援会で適切に処理すべきものである

質問

信貴町長の関係政治団体「信貴康孝後援会」の令和2年度収支報告書について伺う。

収支報告書をチェックしたところ3点の疑義が生じた。

1点目は、会報の配布代が記載

されていない。

2点目は、会報臨時号の記載がない。

3点目は、後援会が選挙事務所は無償提供をおこなったという記載がない。

これらの記載が抜けているのは、また、帳簿の現金残高と実際の現金残高は一致しているのか。

町長

この質問は、町の一般事務とはまったく関係がない。

答弁すべきものではないが、後援会で適切に処理されるべきと考える。



信貴康孝後援会の収支報告書

**Q** 紙おむつは園内で処理するべきでは

**A** 課題の有無など、さらに調査・整理したい

質問

3月会議の一般質問でも取り上げたが、複数の住民から紙おむつを園内処理してほしいという声を聞いている。園内処理はノロウイルス対策にもなりえる。

府内の自治体でも紙おむつの園内処理がおこなわれ、または今後進められようとしている。

久御山町でも、子育て支援に資するためにも、来年度に園内処理の予算をつけるべきでは。

学校教育課長

紙おむつを持ち帰っていたり、ことにより保護者は尿の量や回数などを把握することができると。

園内処理は、健康状態の把握をどのように保護者と保育教諭が共有していくのかという課題がある。実際に実施している施設の現場の声を聞き、課題の有無など、さらに調査・整理をしていきたい。



しのだ ひさかず  
篠田 久和

**Q** ヤングケアラーの把握  
人数は

**A** 令和4年11月現在の  
人数は3人

**質問**  
ヤングケアラーと思われる児童生徒は、令和3年6月では6人把握されていたが、令和4年11月現在の把握人数は何人か。

**学校教育課長**

虐待未然防止の視点で、支援対象として継続的に把握をおこなっている要保護児童等のうち、ヤングケアラーへと発展する可能性がある児童生徒は令和4年11月現在3人で、支援を続けている。

**質問**

ヤングケアラーの早期発見の方法、教職員の研修は。

**学校教育課長**

早期発見については、学校の教職員が、欠席、遅刻や早退、忘れ物などが多かったりなどのヤングケアラーの特性を理解し、日頃からの児童生徒本人の様子の丁寧な観察や、保護者が学校に関わる様々な機会での接触で、把握につながるかと考えている。

研修は、京都府ヤングケアラー総合支援センターで開催され、教育関係者も多数学習した。



厚生労働省HPより

**質問**

民生部内で福祉事業者や職員の訪問介護でヤングケアラーを確認され報告があったか。

**子育て支援課長**

福祉事業者や民生部各課から新たにヤングケアラーと認識される事例や相談はなかった。ヤングケアラーは定義も曖昧で、社会的認知度が低いのが現状、他の事例と比べ発見が難しい。

**Q** 観光部署を作ってみては

**A** 単独部署の設置は  
時期尚早と考える

**質問**

観光部署を作れば、外部から問い合わせしやすくなるのでは。

**産業・環境政策課長**

単独部署の設置は時期尚早と考えるが、観光に係る業務を担っている産業・環境政策課において、ホテルとのつなぎ役を担う担当者を明確にしていくなどにより対応する。

**質問**

久御山町は観光に向けた取り組みを、どう考えているのか。

**産業・環境政策課長**

町内農家との連携を深め、将来的に農園体験ツアーなどに結びつくよう、農業や、歩くまち及びまちのにわ構想推進担当課の連携プロジェクトとして協議している。

**質問**

どのようにホテルの利用価値を上げ、本町の産業振興につなげるのか。

**町長**

広域的な消費ツアーに向けた取り組みについて、本町が山城北の玄関口として位置することも踏まえ、お茶の京都DMOと連携し検討していき、町の魅力を磨きあげ、観光という側面も意識していければと考える。



建設予定のホテル (イメージ)



まつもと よしひろ  
松本 義裕

**Q** 将来的に実施を  
考えている支援策は

**A** 訪問員が育児用品を  
届け、悩みなどを聞く

**質問**  
療育教室と放課後等デイサービ  
スの現状と今後の展開は。

子育て支援課長

療育教室では、令和2年度から  
作業療法士をアドバイザーとして  
配置し、職員が作業療法の視点を  
取り入れるノウハウを学び、遊び  
を療育の中に取り入れ、質の向上  
につなげている。

現在、「まちづくりセンター」  
の設計において、療育教室通室児  
が運動遊びのできるプレイルーム  
や水遊びのできるテラスの設置な  
ど、子どもたちが伸び伸びと遊べ

る環境づくりに向けた協議を進め  
ている。

**福祉課長**

放課後等デイサービスは、今年  
度から久御山しみずの里の交流ホ  
ールでサービスが開始された。  
就学後も切れ目なく発達支援が  
できる環境づくりをしていく。

**質問**

現在の取り組みの分析、評価は。

子育て支援課長

支援が必要な家庭に対して保健  
師が定期的に関わるとともに、そ  
の方の状況に合った子育て支援を  
進めている。

特に、産後ケア事業については  
11月末時点で9件の利用があり、  
「心身ともにリフレッシュするこ  
とができ、心に余裕ができました  
」と好評を頂いている。

今後必要とされるサービスを  
積極的に展開していくことが、少  
子化の抑制や虐待の早期予防につ  
ながるものと分析している。

**質問**

来年度から、新たに実施を考え  
ている支援策は。

**町長**

来年度から、訪問員が全ての乳  
児がおられる家庭におむつ等の育  
児用品を届けるとともに、「育児  
についての疑問や悩み」などを聞  
く事業を検討したい。



パパママ教室(子育て支援策)

**Q** どのように再整備基本  
計画をまとめるのか

**A** 荒見苑の利活用も  
盛り込んでいきたい

**質問**

荒見苑の利用者が減っていると  
いうことだが、町として増やす仕  
掛けづくりが必要では。

**福祉課長**

「久御山まちのわ構想」では、  
地域主体の交流・活動の場づくり  
のひとつとなる。

これまで以上に元気な高齢者の  
活動拠点となり、幅広く利用され  
る施設として新たな利用者の確保  
につなげたい。

**質問**

今年度中に公園全体の「再整備  
基本計画」を策定予定だが、どの  
ようにまとめるのか。

**建設課長**

現在、実施しているサウンデイ  
ング型市場調査による民間事業者  
の意見も取りまとめ、荒見苑利用  
者との意見交換を実施する。

その結果を踏まえ、久御山中央  
公園再整備検討委員会で検討し、  
「再整備基本計画」に、荒見苑の  
利活用を盛り込んでいきたい。



利活用が検討される荒見苑



うちだ たかし  
内田 孝司

Q 避難所運営マニュアルの策定は

A 大変重要であり、早急に策定する

質問

避難所運営マニュアルは、事前に避難所の運営に関する具体的な手順について定めてあるもので、運用訓練を、マニュアルで定めてある手順に沿っておこなうことで、素早い対応ができることになる。避難所運営を円滑におこなうための運営マニュアルは、策定できているのか。

総務課長

避難所ごとに簡易の開設手順書はあるが、マニュアルの策定には至っていない。自主防災組織の方々もどのような活動をすれば良

いのか判断するのは、現状難しい。避難所運営マニュアルは必要と考える。

質問

早急に避難所運営マニュアルを作り、いつでも手順が確認出来るよう、住民への周知及び、知識を広めることが必要では。

町長

自治会や自主防災組織、ボランティアセンターなどの協力を得て、避難所運営をおこなっていく必要がある、活動のルールなどを定め、地域の方に有効に活用いただける避難所運営マニュアルは大変重要であり、早急に策定する。



佐山校区防災訓練の様子

質問

避難所生活では、トイレの不衛生や、人目が気になり、また、高齢者や、身体障害者の方は、トイレの使用が困難となるなど衛生面・健康面の悪化は、生命に関わる問題となる。

避難所のトイレ問題についての考えは。

総務課長

水洗トイレが使用できなくなった場合、避難所の衛生面や住民の健康面の問題などが課題であると認識している。

質問

避難所におけるトイレ問題については、マンホールトイレを設置し、下水道に接続することで、プールの水も有効活用でき、排泄物に対する衛生環境も良くなることは明らかである。

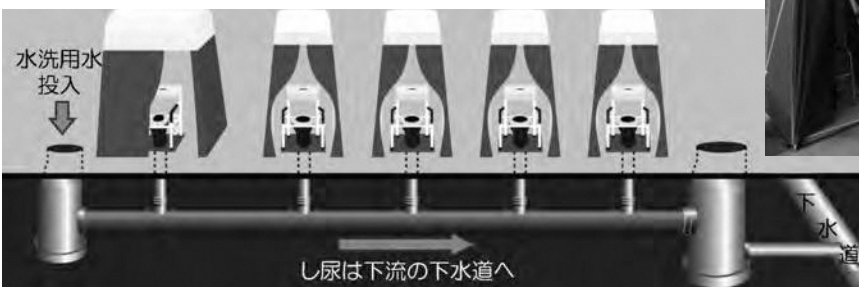
是非、設置に向け検討していただきたい。

町長

現在進めている「全世代・全員活躍まちづくりセンター」に整備を考えている。

避難所については、下水道に直結させるマンホールトイレの整備

工事に、多額の費用がかかることから、必要数も含めて様々な条件を調査し、慎重に進めていく必要があると考えている。



マンホールトイレのイメージ (国土交通省HPより)



いわた よしかず  
岩田 芳一

**Q** 教育のインフラ整備は無償化で

**A** 国・府に対して要望し支援を求める

**質問**  
デジタル教科書の活用について、教員の力量に差があると言われていいる。文部科学省は教員向けの研修などを強化する方針を示しているが、本町の現状は。

学校教育課長

ICT支援員（町単費配置）と連携し、タブレット端末を活用したアンケートの実施や児童生徒に効果的なアプリケーションの導入など、日々新しい活用方法を学んでいる。

今後さらに研修環境の改善に努めていく。

**質問**

文部科学省の調査では、ドライアイによる「目が疲れる」といった回答が4割である。

健康面での影響について、継続的な調査が必要だといわれているが、本町の状況は。

学校教育課長

家庭でのスマートフォン使用时间やテレビ等の視聴時間が全国の平均と比較して長いということが分かっている。

在籍児童生徒の家庭に配付している「タブレットの使い方（家庭編）」に、利用時間や利用方法など、気をつけてもらいたい内容を記載し、啓発をおこなっている。

**質問**

教育のインフラ整備は無償化と考えている。

文部科学省は子どもたちの学習意欲や学力の向上につなげたいとのことだが、児童生徒・教職員などにおいて、教育のDX（デジタル化）について、教育長の考えは。

教育長

教育のDXは整備したICT環境を活用することにより、子どもたちの学び方と教職員の働き方が

生まれ変わることに捉えている。必要な財源が確保できるように、国・府に対して引き続き要望し、支援を求めたい。



配布されているタブレット

**Q** 発達性読み書き障害の状況把握は

**A** 様々な検査により人数を把握している

**質問**

小中学校において、発達性読み書き障害（ディスレクシア）の疑いがある児童生徒の状況把握は。

学校教育課長

小中学校において、ディスレクシアの疑いがある児童生徒については、様々な検査により人数を把握している。

**質問**

保護者の理解は欠かせない。合理的配慮を受け入れられないことを防ぐことが必要であるが、考えは。

教育長

今後も、発達性読み書き障害に限らず、あらゆる障害について正しい理解につながるよう、さらに効果的な周知の方法を検討したい。



文字がゆがんだり、音読ができなかったりするなどの症状がある



まつお  
松尾

あきら  
憲

**Q** 府営水広域化危惧を  
感じるが、本町の評価は

**A** 一定評価するが今後は  
しっかり議論する

質問

「京都水道ブランドデザイン」及び「京都府営水道ビジョン」の今年度中策定が進んでいる。先般11月10日には知事はじめ府内26市町村長が出席し、「京都府水道事業広域的連携推進協議会」が開かれた。

町はこの案についてどう受け止  
め、どう評価しているか。

町長

水道事業の基盤強化の方法の一つとして、一定評価出来る。ただあくまで例示されたに過ぎず、本町にとって何が有効かは、今後の

水道経営審議会で議論し判断したい。

質問

各自自治体での議論が深まらない中で、広域化等の案が今年度中に策定されることに大きな危惧をしている。本町は府営水の建設負担水量が重みだが、これに対して何らかの回答はあったのか。またその額は。

上下水道課長

見直しを要望しており、本計画期間内に議論を進めると聞く。

建設負担水量は、年2億2500万円で使用率は約33%。

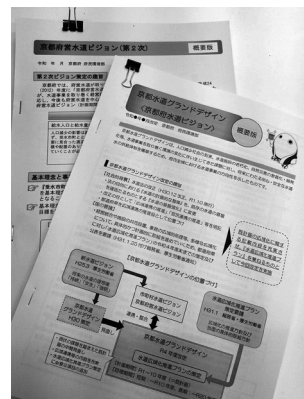
質問

府は12月末からパブリックコメントを実施するが、府の考え方と受水市町の抱える課題に乖離がある中で、一体何を求めていると考えているのか。

事業環境部長

全体をみて総花的なものではないと考える。また建設負担水量の議論を進める時期にある、と記されている。本町においても、水道ビジョン、経営戦略の見直しの中で、将来の

在り方含め全町的な議論をし、住民の皆さんへの情報発信に努めたい。



府の水道ビジョン中間案

**Q** 小中学の義務教育で  
給食費などの無償化を

**A** 就学支援制度はじめ  
独自の施策を実施

質問

内閣府の発表では、子どもの貧困率は13・5%。「子育て環境日本一」の府政下、本町の教育現場での子育て支援策は具体的にどうか。

学校教育課長

修学旅行費、校外活動費、給食費等の保護者負担軽減事業や、スクールカウンセラーなど講師派遣

策を実施している。

また経済状況の厳しい家庭への就学援助制度は約28%の世帯が受けられている。

質問

小学生の保護者負担の実態はどうか。

学校教育課長

保護者負担は、小学校で年間7万〜10万円、中学で約11万円位、他に制服代や書道具などがある。

質問

本来義務教育は無償であるべきで、教育関連費用や給食費などの無償化を考えてはどうか。

学校教育課長

所得の低い厳しい家庭には支出が大きいと考えられ、就学支援制度はじめ、他の自治体にはない独自の施策を実施している。



たつみ 巽 えつこ 悦子

**Q** ぶれない基軸として  
まちづくり条例の整備を

**A** 条例がなくても総合計画  
で取り組みを進める

質問

「ひとづくり・まちづくり」に  
ついて聞く。

住民が主体となつて、まちづく  
りをするために支えるのが町行政  
の役割であると考えているが。

企画財政課長

年齢や性別、障害の有無を問わ  
ずに誰もが交流できる、地域共生  
型のまちづくりを推進することが  
不可欠であると感じている。

質問

「ぶれない基軸」として、「条  
例」で整備すべきではないか。

企画財政課長

基本条例がなくても、総合計画  
で行政と住民との関係も明らかに  
し、住民と行政の協働と連携の取  
り組みを進める。

質問

町長の「まちづくり基本条例」  
への考えは。

町長

本町にとって真に意義があるも  
のであるか、否かについて、慎重  
に検討することが必要と考える。



視察先の垂井町の事例  
(垂井町HPより)

質問

基本方針の「Withコロナ時  
代への対応」についてだが、新型  
コロナウイルス感染者の状況は。

国保健課長

町内の感染者の状況は、保健所  
から感染者人数のみが情報提供さ  
れる。

感染者が入院か宿泊施設か在宅  
かなど、詳細が示されないため具

体的には把握はできない。

老人福祉施設等は、クラスター  
等が発生すれば施設から報告を受  
けるが、現在、報告はない。

質問

教育面で、コロナ感染対策だけ  
ではなく、学習の遅れや登校な  
ど、工夫をしていることは。

学校教育課長

マスクによって表情から相手の  
感情を読み取ることが難しくなっ  
た。コミュニケーションを図る上  
での影響が出ている可能性は否定  
できないが、「できること」「で  
きないこと」は、マニュアルで、  
はつきりさせている。

**Q** 水道は公営でなければ  
ならないと考えるが

**A** 現在のところ、公営でと  
考えている

質問

11月10日、「第1回京都府水道  
事業広域的連携等推進協議会」が  
開催された。水道法では、「協議

会の構成員は、その協議の結果を  
尊重しなければならない」とある。  
構成員がそれを「可」としたらそ  
の方向になるのか。

上下水道課長

協議会の結果は、そのように進  
んでいくものと考えている。

質問

水道法第1条の目的は、「清浄  
にして豊富低廉な水の供給」であ  
る。つまり、所得の少ない人でも  
健康で文化的な生活を保持するた  
めには、水道は公営でなければな  
らない。町長の考えは。

町長

水道は、安全・安心な水を供給  
するということ、これに限る。  
今のところは、公営でやってい  
こうと考えている。



清浄で低廉な水の供給を



# 視察報告

民生教育  
常任委員会

11月28日  
～29日

11月28日～29日に岐阜県岐南町と垂井町の行政視察をおこなった。視察の目的は、すでに地域包括支援センターを直営で運営している岐南町、また、まちづくりセンターの運営を開始している垂井町から運営状況等を学ぶことである。



講座（写真）などの実施により、認知予防と普及啓発をおこなっている。

## 岐南町（岐阜県） 11月28日

岐南町（面積7・91km<sup>2</sup>）は、本町と防災応援協定を締結している自治体で、人口は2022年3月末で2万6188人。その22・54%が65歳以上であり、介護認定率は4・23%と微増となっている。地域包括支援センターは、6名の職員体制で運営している。介護予防事業は次の通りである。

### ○一般介護予防

#### ①介護予防普及啓発活動

脳いきいき健康チェック・健康相談・健康教育・キラリ若返り

#### ②地域リハビリテーション活動支援

個別訪問指導（対象者抽出基準なし）・住民運営の通いの場訪問・地域ケア会議。

#### ③地域介護予防活動支援

運動自主サロンでは、かがやきサポーター（介護予防サポーター）が中心となり、住民が主体的に筋力アップや脳トレ体操、参加者との交流などにより、介護予防に取り組む。

### ○町独自の取り組み

「重症化させない」ことを町独自策の根底に据え、長期に実施。

#### ①介護予防サービス無料化事業

居住系サービスの自己負担の限度内利用サービス料全額助成。

#### ②免許証自主返納事業

申請日より2年間、岐南町のコミュニティタクシーの利用料を助成（コミュニティバス無料）。

#### ③認知症高齢者等個人賠償責任保険事業

○年間保険料（年間18万円）を全額町が負担（一般会計）。  
○対象者は、住民票があり、介護認定者で認知症の人、または疑いのある人。

## 垂井町（岐阜県） 11月29日

垂井町（総面積57・09km<sup>2</sup>・人口2万6337人）は、平成22年3月に制定した「まちづくり基本条例」第24条に基づき、行政と協働してまちづくり協議会を設置できるとしている。

### ○7地区の分散型で

小学校区ごとの7地区にあった公民館を拠点として、地域の課題解決に向けた協働のまちづくりを進めていく協議会が設立された。



現地視察で、宮代地区まちづくりセンターを訪問、運営などの説明を受けた。

このことにより、一方所集中型ではなく、7地区の分散型でのセンター化とした。  
町は、協働のまちづくりを推進する母体として、また各地区センターのまとめ役として「町まちづくりセンター」を設置した。

### ○現在、公設公営で運営

センターの運営・管理については、条例で公設民営を明記し、指定管理者におこなわせるとしているが、現在のところ再任用職員、会計年度職員の2名体制の公設公営である。

住民と議員の

久御山町議会地域懇談会

# ほんわか せっしょん!

ゆうホール

2/14(火)

午後 7 時～

久御山町役場  
コンベンションホール

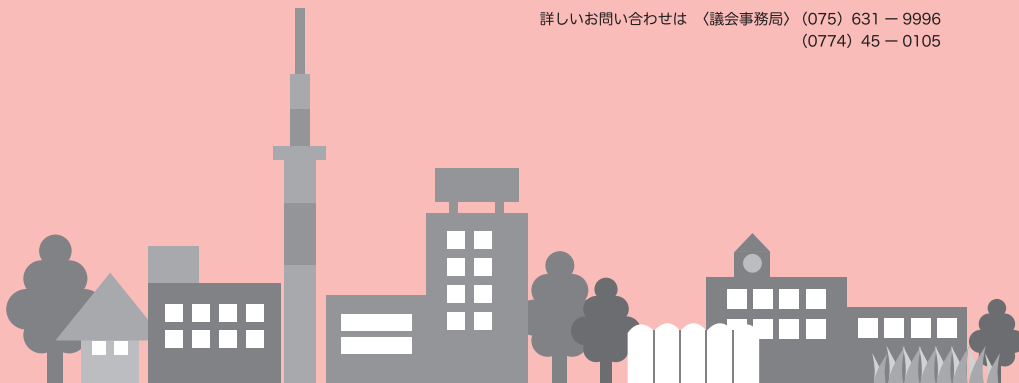
2/18(土)

午後 2 時～

「ほんわかせっしょん」とは、住民の皆さまと議会とが、ほんとうにわかりあうために、  
柔らかく暖かなイメージの「ほんわか」と、英語で「集会」を意味する session を組み  
合わせた造語です。

「ちょっと言いたいことがあるねん」という方のご参加をお待ちしています。

詳しいお問い合わせは 〈議会事務局〉 (075) 631 - 9996  
(0774) 45 - 0105



ちよつと言いたいこと  
があるねん!

## 『ほんわかせつしよん』開催!

「ちよつと言いたいことがあるねん」という方、お待ちしています!

開かれた議会の取り組みとして、住民の皆さまと町政の課題などについて意見交換をおこなう地域懇談会『ほんわかせつしよん』。コロナ禍により開催を控えていましたが、約3年ぶりに2日間2会場で開催します。

事前申し込みは不要です。皆さんとざくばらんにお話したいと思っております。気軽に  
お越しください!

### 日時

- ① 2月14日(火) 午後7時～8時30分
- ② 2月18日(土) 午後2時～3時30分

### 場所

- ① 14日 Ⅱゆうホール2階交流ホール
- ② 18日 Ⅱ役場5階コンベンションホール

### 問い合わせ先

議会事務局  
☎ 075(631)9996  
☎ 0774(45)0105



## 町議会モニター よろしくお願いします

8月1日号で募集しました町議会モニターについて、8名の方に決定しました。

今後、議会だよりや議会運営・町政運営へのアンケート回答や、議会モニター会議に参加いただき、ご意見をたくさんいただきたいと思ひます。

町議会モニターの皆さん、よろしくお願ひします!



## 編集後記

皆さまにおかれましては、新しい年を迎えられお慶びを申し上げます。お一人お一人に、希望あふれる一年となりますように。

議会だよりは、皆さまに親しみやすくなるように毎回編集をしております。本年も日々研鑽し、町議会の情報を発信していきます。そして、委員一同、住民の皆さまに是非お読みいただけるよう努力していきますので、本年もよろしくお願ひします。

岩田 芳一



### 広報広聴委員会

委員長	松尾 憲子
副委員長	巽 悦子
委員	篠田 久和
	松本 義裕
	林 吉房
	樋口 芳一
	岩田 孝紀
	中井 中

オブザーバー  
(議長)

このまち  
このひと  
No.37

# 碾茶日本一 親子で抹茶文化広めたい



坂田 広樹さん、峻也さん  
(佐山在住)

佐山浜台の碾茶農園を営んでおられる坂田広樹さん(51歳)を訪ね、「碾茶日本一」作りにかける思いと魅力を語っていただきました。

## 碾茶日本一受賞

令和3年の「第75回全国茶品評会」碾茶部門で、満点の一等一席で農林水産大臣賞、併せて二等2席の奥様と二等のお母さんの三点で「産地賞」も獲得。



茶農家五代目の広樹さんは、「茶作りを始めて25年の苦労と努力が実った」と物静かなながらも熱い思いを話されました。

この浜台は、木津川上流からの沃土と砂状土が程よく混ざり水はけが良い。先祖代々の土と「自然仕立て(覆い下手摘み)」で育て、一芽一芽丁寧に摘み取ることで「旨味・甘味」たっぷりの抹茶が生まれます。

「茶作りを始めて25年の苦労と努力が実った」と物静かなながらも熱い思いを話されました。



浜台にある覆下園の茶園  
(まくしたえん)

「年一回の収穫なので失敗は許されません。毎日、茶木と顔を合わせ成長の具合を日々観察します。特に、気候の変化には神経を使い対応しています」と、茶栽培のご苦労を語られました。

「年一回の収穫なので失敗は許されません。毎日、茶木と顔を合わせ成長の具合を日々観察します。特に、気候の変化には神経を使い対応しています」と、茶栽培のご苦労を語られました。

## 伝統を引き継ぐー親子鷹

手摘みの手法にこだわり伝統をしっかりと育みたいと、長男の峻也さん(26歳)。悩んだ末に目指していた料理人の道を断念し、門を叩いたのが宇治市にある「京都府茶業研究所」でした。ここでお茶作りの基礎から実践をしっかりと学んだ後、家業の茶職人としてスタートしました。

峻也さんの茶づくりも評価を受けました。昨年「第74回関西茶品評会」で一等三席に見事入賞。さらに京都府優良品種茶園品評会でも農林水産大臣賞・京都府知事賞を受賞しました。

六代目誕生に、親子でにつこり。

## 「抹茶文化」を広めたい

抹茶は、様々な栄養分が含まれている健康効果の高い飲み物。歴史も古い久御山の抹茶を、もっと多くの人に知ってもらいたい。まずは地元の人や子どもたちに

本物の抹茶を味わっていただきたいと、「夢」を語る広樹さん。夢の実現は、ぜひ親子鷹で。

(聞き手・広報広聴委員会)

## 表紙の「くみやま」を書いたのは野村心瑛さんです



野村 心瑛さん  
(佐山小学校3年生)

心瑛さんの祖父母が大切に育てている、トウモロコシやトマト、花、ナスビを文字の上に描きました。もちろん、文字の色も、野菜や花の色です。学校のクラスでは、クイズ係(4名)で活躍中。毎週、クイズを考えています。読書が大好きな心瑛さんの夢は、図書館や本屋さんで働くこと。「こんな本を読みたい!」という人に、その本と一緒に探してあげられるから、だそうです。